

平成 22 年 3 月 18 日

高山村長 久保田勝士 様

高山村行政改革推進委員会
会長 毛利 鹿峰

高山村行政改革実施計画に基づく実施内容の評価及び今後の
行政改革について（答申）

平成 22 年 1 月 28 日付で貴職より諮問のありました標記について、当委員会の意見は下記のとおりです。

記

1 高山村行政改革実施計画に基づく実施内容の評価について

本村では、平成 18 年 3 月に策定した高山村行政改革実施計画に基づき、行政改革を推進されてまいりましたが、本委員会では平成 22 年 1 月から 3 回の会議を開催し、「行政改革実施計画の実施状況」について内容の検証を行ってまいりました。

その結果、計画期間（平成 17 年度～21 年度）内で実施された内容については、人件費や物件費、補助費等経常的な経費を大幅に削減する一方、扶助費については、福祉医療費給付制度の充実など、村民生活に直結する事業への重点的な配分を行い、将来を見据えた安全で安心な住みよい村づくりに努めてこられました。

また、おてんま支援事業や農地・水・環境保全向上対策事業など地域ぐるみによる協働の村づくりへの取り組みは、自律して持続可能な村づくりを大きく前進させるものであり、計画期間における実施内容については大いに評価できるものと考えます。

なお、個々の項目についての意見は別表のとおりです。

2 今後の行政改革について

平成 22 年度以降の行政改革大綱の策定については、これまで実施してきた行財政改革の実績を踏まえるとともに、地方財政を取り巻く環境が一層厳しさを増すことが予想される状況の中にあって、第 5 次高山村総合計画の将来像である「ひと・むら・自然がきらめく信州高山」を目指し、引き続き村民との協働により、自律して持続可能な村づくりに努められるよう要望します。